

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	(独) 電子航法研究所 (施設整備費)	担当部局庁	航空局 交通管制部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～	担当課室	管制技術課	課長 鏡 弘義			
会計区分	一般会計	施策名	41 技術研究開発を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人電子航法研究所法)	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	研究開発業務の確実な遂行のため、研究所の施設・設備に関して性能維持・向上等適切な整備を実施する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	電子航法研究所は、航空交通の安全の確保とその円滑を図るため、航空交通管理手法の開発や、航空機の通信・航法・監視を行う航空保安システムに係る研究開発等を行っているが、これらを実施するために、研究棟、実験用航空機等の施設・設備を利用しているが、これらの老朽化により業務に支障が乗じないよう、補修、建替等を行うものである。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	125	139	99	39	50
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	▲ 125	125	-	-	-
		計	0	264	99	39	50
	執行額	0	231	92	-	-	
執行率 (%)	0%	87.6%	92.9%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	老朽化した庁舎の外壁亀裂及び防水劣化の補修、空調設備の更新により、職場環境を改善した。	成果実績 達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	庁舎の外壁補修、防水工事及び機械設備補修工事	活動実績 (当初見込み)	棟	0	4	1	-
単位当たりコスト	(92百万円/1棟)	算出根拠	執行額/工事対象建物棟数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	39	50	電波吸収体の劣化により電波無響室電波吸収体交換工事が早急に必要となったための増。			
	計	39	50				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、国(航空局)が実施する航空管制業務等について研究開発を行い、技術的側面から支援するために重要で優先度の高い事業であり、独立行政法人通則法第46条の規定に基づき、国が必要な経費を交付するものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	これまでコスト削減に努めており、目的でも航空管制業務等の研究開発及び技術的支援に真に必要な事業として実施及び支出をしている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業は、類似のない重要な事業であり、成果目標についても独立行政法人通則法に基づく中期目標を立て、着実に目標を達成している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	電子航法研究所における施設・設備については、中期計画に定める施設整備において性能維持・向上等適切な処置を講ずることとしており、老朽化等により更新が必要とされている施設・整備の内、研究開発業務を遂行する上で実際に支障が生じている施設を精査し実施した。引き続き更なる精査を行い、効果的な予算の執行を行うこととする。また整備された施設等については業務の確実な遂行のために十分かつ効率的に活用されている。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	研究開発業務に支障を与えない範囲で、真に必要なものを精査して補修等を行うべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	必要性及び緊急性が特に高い補修に限定し、事業を実施することとした。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	409	平成23年行政事業レビュー	380

※平成23年度実績を記入

国土交通省  
92百万円

国の行政に必要な技術的知見を得るため研究開発を電子航法研究所に行わせる

【補助】

A. (独)電子航法研究所  
92百万円

【一般競争入札】

B. 民間事業者(2社)  
88百万円

研究棟の建替工事等を実施

【不落随契】

C. 民間事業者(1社)  
2百万円

工事施工監理業務等を実施

【少額随契】

D. 民間事業者(4社)  
2百万円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(独)電子航法研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設費	建築工事等	92			
計		92	計		
B.(株)小野組			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設費	建築工事	83			
計		83	計		
C.(株)ニッテイ建築設計			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設費	施工監理業務	2			
計		2	計		
D.(株)イゾイ			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設費	廃棄物処理	1			
計		1	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)電子航法研究所	研究開発業務を確実に遂行するため研究所の施設・設備の性能維持	92	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)小野組	建築工事	83	4	91.11
2	(株)ニッテイ建築設計	設計業務	5	2	89.13
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ニッテイ建築設計	施工監理業務	2	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)イゾイ	廃棄物処理	1	-	-
2	国際通信工業(株)	電話設備工事	1	-	-
3	(株)大東電設	電気設備工事	0	-	-
4	ケーティエス情報(株)	書類整理	0	-	-
5					
6					
7					
8					
9					
10					